



565人の新成人 平成18年度 雲南市成人式

8月14日、夏の成人式が、三刀屋文化体育館アスパルで開催され、新成人565名のうち433名が参加しました。



式典では、速水市長や来賓などから祝辞があり、それを受け、新成人を代表して菅野貴久さんが「成人としての自覚をもち、広い視野と謙虚な気持ちで、自らの責任を果たしていきたいです」と誓いのことを述べました。

式典後の記念講演では、錦織良成監督が「みなさんが育った所は最高の場所です。このふるさとを大切に想う気持ちを忘れずにがんばって欲しい」と

と激励。会場では、記念写真を撮る新成人たちの姿や懐かしい顔ぶれとの再会に思い出話をする姿などが見られました。



新成人誓いの言葉



国際感覚豊かな人材育成 リッチモンドサマースクール事業

平成18年度雲南市青少年海外視察等派遣事業のリッチモンドサマースクール（アメリカ・リッチモンド市に14日間の日程で滞在）へ、公募により選ばれた7人の中学生・高校生が旅立ちました。

出発前の8月3日には壮行式が行われ、団員を代表して中林健太さんが「この機会に大いに交流し、ひとまわり成長して帰国します」とあいさつ。団員らは、8月8日から21日までの期間中、リッチモンド市でのホームステイを通して、異文化の理解、英語の表現力と理解力の向上を図ります。



リッチモンドサマースクール派遣団員
後列右から中林健太さん（大東高校2年）、久村晃生さん・田中俊也さん（木次中学校3年）
前列右から坪倉慧子さん、宮廻千穂さん（大東高校2年）、井田菜穂子さん（大東中学校3年）、岸野あすかさん（大東中学校2年）



会場には童謡を口ずさむ大勢の姿が見られました

雲南市民で童謡を歌おう会

心のふるさと「童謡」大合唱

「雲南市民で童謡を歌おう会（景山道隆会長）」が発足し、7月22日に発足記念講演会とハーモニカコンサートが開かれました。

童謡を歌おう会は、市内で活動するコーラスグループ14団体のメンバー約400人が中心となり、日本人の心のふるさとである「童謡」を歌い、交流を深め、童謡であふれたまちへの発展を願い活動していきます。

講師は、童謡・童話作家でハーモニカ奏者の「もり・けん」さんで、「子どもたちには、ぜひ日本の心や自然を綴る童謡を歌い継いで欲しい。そして、老若男女問わず、多くの日本人にも口ずさんで欲しい」と話されました。

そして、参加者は、子守り歌や朧月夜、海、故郷など数々の童謡を、もりさんのハーモニカ演奏に合わせて、それぞれの童謡の背景を思い出しながら熱唱しました。



創造的・実践的な観光振興を

雲南市観光協会発足

これまで旧町村単位で活動されてきた各観光協会が統合・一元化により7月28日、雲南市観光協会の設立総会がサンワーク木次で開かれました。



発足式では、会長に就任した田部英雄会長が「各町村での活動を継続しながら、銅鐸、サクラなど各地の観光資源を一体的にPRし、まごころをもつて迎えることで、さらなる交流人口の拡大をめざします」とあいさつ。同協会では、「雲南市を舞台に撮影される映画制作への協力」や「観光ボランティアの育成」などの事業を今年度展開する予定にしています。



国道54号 三刀屋トンネル改良工事着手



三刀屋トンネルは、昭和43年に完成し、山陰と山陽を結ぶ大動脈として、1日当たり15,900台の交通量がありますが、トンネル内には歩道が無く、自転車通学生や歩行者の安全対策を求める要望が以前から強くありました。今回の工事は、広島に向かつて左側へ新たにトンネル（延長306m）を掘削し、広島方面への1車線の車道を設けるものです。これにより、既設トンネルには将来、自歩道

と1車線の車道が整備されます。工事に先がけ、8月10日には現地で安全祈願祭が行われ、出席した国土交通省や工事関係者が工事の早期完成と安全を祈願しました。

■断面イメージ

